

鴨庄地区 地域づくり計画書



鴨庄川イカコヤ橋（予定地）
付近から鴨庄地区遠望



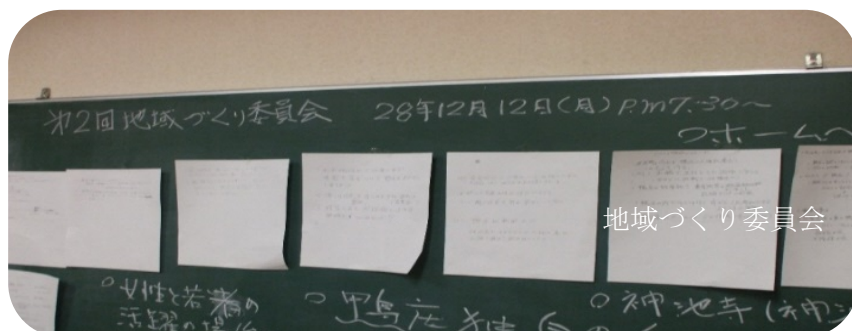
鴨庄地区自治振興会

「鴨庄地区」地域づくり計画書

◎はじめに

平成 23 年度に住民アンケートが実施され、それを基に「元気な地域づくり」が策定され、27 年度末まで種々実施されました。28 年度からは 10 年後までを想定した新たな地域づくり事業が起こされました。その中で、28 年度 1 年間をかけて「地域の課題解決」を含む地域づくりを新たに策定する計画が上がりました。それを実施化するために、11 人（男性 7 人、女性 4 人）の地域づくり委員会を立ち上げました。

計画策定は、23 年度のアンケートを含む、これまでの取組を基に議論しながら、現在、そして将来「どんな鴨庄にしたいの」を念頭において創りました。



第1章 現状と課題

① 地域の概要

当地区は丹波市市島地域の東南東南端に位置し、東南北の三面が山で囲まれ、西の一部が少し開けていますが、山が連なる山村地域です。中央部には鴨庄が流れ、その両側や山麓の段丘地に水田、畑地等が広がっています。周囲は妙高山などの山々に囲まれた自然豊かな環境にあります。妙高山付近は、多紀連山県立自然公園に指定され、モリアオガエルやクリンソウの群生地があります。

地域の面積の 7 割以上が山林で、2 割が農地（約 190 h）です。基幹産業はかつては農林業で、稲作農業を中心に野菜栽培や乳牛・和牛の飼育等を行う畜産農家も多く、林業も盛んで植林等も盛んに行われていました。



しかし、林業の衰退とともに、山林の管理も放置されているため、松茸の収穫量は減少いたしました。また、畜産農家も地域では数件となっております。

現在も産業の中心は農業ですが、大半は小規模兼業農家で主に稲作中心で、耕作放棄地も増えつつあります。このような中で、野菜作りにも力を注いでいる農家も多い。そして市内での直販や都市部の大型店舗棟への出荷をしています。更には、都市部との交流を進めています。

歴史・文化面でも多くの神社仏閣もあり、日ヶ内城址・岩倉城址等も記録に残されています。また、水飢饉から村人を救うために、のちに丹波の農聖といわれた吉見伝左門翁が造った、ため池「神池」は現在の鴨庄にとっても重要な財産です。

その外、かつて神池寺において古くから行われていた「二十六夜祭」は現在場所を鴨庄小学校グラウンドに移し「ふるさと夏祭り」として引継ぎ、毎年開催しています。

地域づくり事業としては自治振興会を中心に地域が一体となって、前記の「ふるさと夏祭り」「案山子祭り」の開催をはじめ、地域高齢者の交通手段として「ふれあいバスの運行」うち米コシヒカリを使った「百人一酒（地域住民による酒造り）」、「地域の安全見守りパトロール」等多くの取組をしています。



案山子祭り

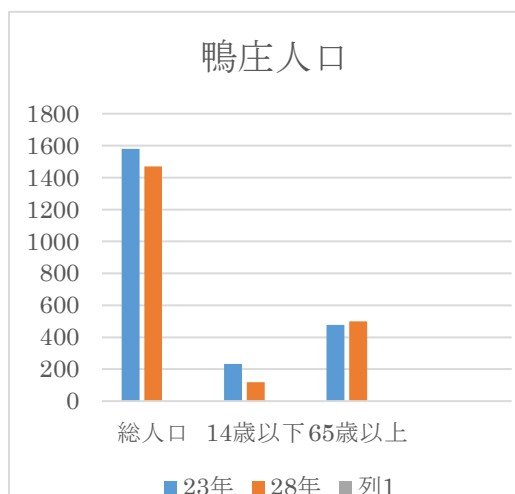


神池

②現状と課題

1. 少子高齢化と人口減少

我が国の山村の大きな問題である少子高齢化がこの地域にも進行し、高齢化率は、平成28年度において、地区内平均で33%を超えており、限界集落（高齢化率が50%を



を超える地域)といわれる自治会をも出てきております。また年少人口（0歳～14歳人口）比率についても8%程度の状況です。平成23年度は、高齢化率29.5%、年少人口比率15.5%でしたから、少子高齢化の状況は更に加速しており、地域人口も1581人から1471人と減少しています。当然加速化の歯止めが必要なのはいうまでもありません。少子高齢化、人口減少に伴い農業を主とした就業者の減少、高齢者支援対策が等色々な課題が生じています。

2. 自然環境と生活環境の保全・整備

明るい元気な地域にするには、先ず日常生活の基盤がしっかりしていなければなりません。しかしながら、高齢化・人口減少に伴い、自然環境の保全、生活環境の利便性にもひずみが生じ、結果として空家、荒地の増加、公共施設及び商店の閉鎖が起こっています。自然環境のひずみは獣害としても問題が大きくなっています。

3. 若人と女性の活動

マンパワーは明るい元気な地域づくりには欠かせません。しかもそのパワーは一部の年代層や男性のみのパワーではひとりよがりな活動になりやすく、息切れ、マンネリ化を生んでしまいます。この地区には、かつて青年団、婦人会があり、若人・女性が地域の活力を生み出す大きな力になっていました。しかし今では、これに代るものもなく、当地区では若人・女性の参画が低調なようです。自治振興会及び各自治会等含めて、これを向上させる取り組みが必要です。



平成 26 年度
若人の集い

4. 産業の発展

基幹産業の農業も稲作中心から、花木、野菜等の特産品づくりと逐次取組まれてきましたが、現在では十分な成果をなしていないのが現状です。鴨庄の自然環境を活かした特産品が待たれると同時に、今、行われている都市間野菜交流の様な販売方もさらに拡大、新規開発にも取り組む必要があります。



特産化を目指す山椒
栽培

5. 防災

近年、ゲリラ的大雨、地震による災害が各地で多発化しています。平成 26 年 8 月には近隣の地区に未曾有の大雨による大きな災害が発生しました。

当地区も背後に山林を控えた家屋が多くあり、又、南自治会を除くほとんどの地区の山間が特別災害指定地になっています。「神池」をはじめ、ため池も沢山あります。有事の際、被害を最小限に抑える防災対策を行政等と連携して、より向上して行かなければなりません。



神池南側側道法面

6. 組織の変革

女性参画による女性の活躍が強く望まれています。丹波市でも関係条例を作ろうとされています。当地区自治振興会、自治会においても、思いは同じです。地区人口が減少いく状況ではより女性の参画と活躍が求められています。

また、自治振興会、自治会等組織のありかたも、時代の流れに合うような見直しが必要だと思います。



◎現状と課題のまとめ

(課題)

少子高齢化 人口減少 公共的施設・店舗の廃止
自然環境の荒廃 獣害
若人・女性の参画が低調
際立った産業・特産品がない
地区内ほとんどが特別災害指定地である
組織のあり方（自治振興会・自治会等）が旧態依然

(誇れる現状)

自然環境に恵まれている
ふれあいの取組が進んでいる
伝統的イベント・行事がある
「神池」と「丹波の農聖吉見伝左衛門」の遺産がある
神社、仏閣等の歴史的遺産がある



第二章 計画策定

① 将来像と基本理念

「この鴨庄地区で心豊かに住みつづけたい」

私たちが求める将来の鴨庄地区は、**地域の高齢者から若者そして将来を担う子供たちまで全ての人が愛着心を持ち、かつ安心して住み続けられる明るい元気な地域にしていこうことです。**

そのためには、自然豊かなこの地を保全・整備するとともに、「ふれあいバス、児童の青パト」の取組に見られるような、地域住民による心あふれたつながりのある社会環境をより広げていき、子供からお年寄りまで、地域の一人ひとりが手をつなぎ合いながら、主役意識を持ち色々な活動に継続して取組むことです。

そんな地域づくりを目指します。



②基本計画・実行計画

将来像の実現に向け、以下の取組をします。

基本計画	実施計画	主な具体的取組	関係団体
基盤・拠点づくり	・自然環境保全整備 ・生活環境向上 ・IT化 ・拠点拡大	・川、山、農地、池の保全整備 ・インフラ整備 ・パソコンによるIT化 ・住民交流地点の増 ・不要建屋の有効活用	自治振興会 自治会 鴨庄地域環境保全協議会 等
安全・安心	・高齢者支援 ・児童育成 ・防災 ・健康増進	・公共交通空白地対策 ・児童の課外育成支援 ・防災設備の向上、訓練 ・スポーツ大会等	自治振興会 自治会 NPO法人鴨庄 福寿草の会 PTA 消防団 スポーツクラブ 21 体育振興会 等
活性化	・女性、若者参画活動の推進 ・伝統行事の発展 ・独自性・特徴性のあるイベントの実施 ・産業の発展 ・交流会の掘起し	・若人研修 ・案山子、夏祭りの盛り上げ ・「神池」、クリンソウ、神池寺を活用したイベント ・特産品づくり ・他地域間交流の拡大と開発	自治振興会 自治会 PTA 消防団 スポーツクラブ 21 体育振興会 婦人連絡協議会 更生保護女性会 都市間野菜交流会 クリンソウ守る会 商工会 等
組織づくり	・女性、若人の参画 ・組織のスリム化 ・人づくり	・女性、若人の役員化 ・役員名と役員数のスリム化 ・組織、団体の支援体制の構築 ・次代を担う人づくり	自治振興会 自治会 等

は新たな施策

③計画期間

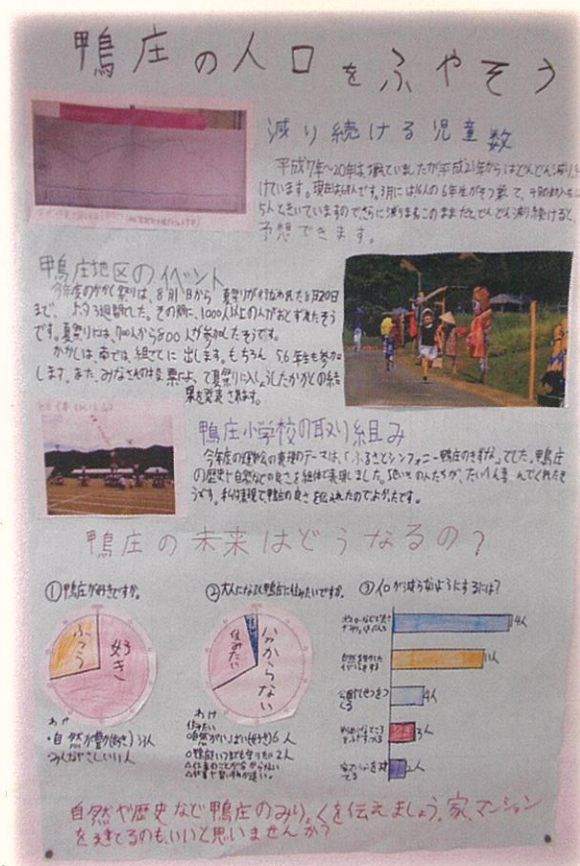
計画は10年先までを策定していますが、時代の流れ、変化は想像以上に早いものです。又、想定外の事態が起きるかもしれません。地区の状況に応じ、課題解決に向け、計画の見直し等を地区全体で取組むこととします。

◎ あとがき

当初の地域づくり計画書を基にして、鴨庄地区の抱える現状と課題を広く住民と共有し、その課題解決への取組を語ることを目的として、平成29年2月25日に「鴨庄進歩！&シンポジウム！」を開催しました。その会場で鴨庄小学生5年生の「鴨庄の人口を増やそう」の取り組みを見せていただき、この故郷に寄せる愛着と、人口が減っていく危機感を、大人に負けない位考えていることに大変感銘を受けると同時に、ある種の責任感を感じました。

又、パネルディスカッションでは、小学校統合、Iターンの空き家、自治会内での日役、鴨庄の良さの発信の意見。住民との意見交換会では若者、中年層の活躍の場を広げる、組織のスリム化等の多くの意見を聞かしていただきました。それらも含め再度検討、議論し、ようやく「鴨庄地区地域づくり計画書」が出来ました。

今後は「この鴨庄で心豊かに住み続けたい」の将来像に向け、地区の皆さんと共に、一歩ずつこの計画書を具現化していくこととします。



鴨庄小学校5年生の取組



鴨庄進歩！&シンポジウム！

鴨庄地区自治振興会

〒669-4315 丹波市市島町喜多 1140-1

☎0795-85-2457

E-mail kamonosyou-jichi@kvd.biglobe.ne.jp